

# 日韓ワークショップ 持続可能な発展と東アジアのコモンズ

近年、韓国ではコモンズ研究の進展が著しく、済州大学では「コモンズと持続可能な社会研究センター」が創設されました。このたび同研究センターの研究者をお招きし、2日間にわたり日韓コモンズ・ワークショップを開催します。両国のコモンズの歴史・現状を相互に理解することを通じ、東アジアのコモンズ研究のどのような展開がありうるかを探ります。

2018年2月11日(日・祝)～12日(月・休)

TKP ガーデンシティ京都2階「桜」

使用言語：1日目午前は英語(通訳なし)、午後から日本語・韓国語(通訳あり)

定員：60名(要事前予約、以下問い合わせ先に①所属 ②氏名 ③参加日 ④懇親会出席をお知らせください。)

主催：兵庫県立大学環境経済研究センター、済州大学 SSK 研究団、総合地球環境学研究所

共催：コモンズ研究会

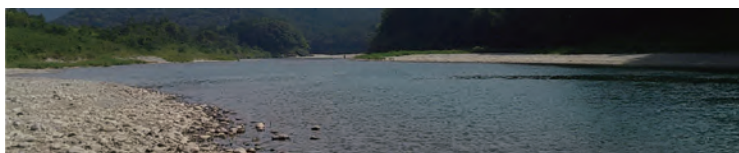
第1日目 - 2月11日(日・祝)

## 「第9回京都・地球環境の殿堂」受賞者 マーガレット・マッキーン氏による特別記念講演

10:00-10:10 崔賢「国際ワークショップの開催の趣旨」

10:10-10:20 西條辰義「地球研からの挨拶」

10:20-11:30 マーガレット・マッキーン「コモンズ研究の軌跡と  
未来—東アジアのコモンズ国際研究に寄せる期待」



12:50-13:00 三俣学「ワークショップ開催趣旨」

### ①韓国と日本のコモンズ論の展開—そのルーツと現在

13:00-14:00 崔賢「共同資源の島・済州—共同繁栄-commonwealth」

14:00-15:00 三俣学「コモンズ研究の軌跡と展望」

### ②歴史的な視点から韓日両国のコモンズを捉える

15:10-16:00 金慈環「コモンズ論に基づいた済州の社会的経済」

16:00-16:50 齋藤暖生「入会の史的展開と現在」

17:00-18:00 総合討論「韓日コモンズ論の接点を探る」  
(討論者：戸石七生)

※ワークショップ終了後、懇親会を開催します。(要事前予約・会費未定)

第2日目 - 2月12日(月・休)

## 地域と環境の再生—開発至上主義・グローバリゼーションを支える国家への対応・抵抗

09:00-10:00 洪性泰「コモンズと生態的転換—開発主義と危険社会を越えて」

10:00-11:00 大野智彦「ダム開発と地域—ダム撤去を契機とした流域社会の再生」

11:00-12:00 田村典江「コモンズとしての食—農の復権と再構築への道」

## コモンズを創る—制度的検討から運動論まで

13:00-14:00 鄭煥璵「済州の町づくりと commoning」

14:00-15:00 高村学人「日本の都市コモンズの再文脈化—Commoningからの示唆」

15:15-16:00 尹汝一「韓国社会運動における commoning という発想の使い方」

16:00-16:45 嶋田大作「草原におけるコモンズの過少利用問題と重層的資源管理」

17:00-18:00 総合討論「東アジアのコモンズ研究を実りあるものにするために」(討論者：鈴木龍也)

問い合わせ・申し込みは

総合地球環境学研究所 FEAST プロジェクト(小林・松岡)

feast@chikyu.ac.jp までお願いいたします。

